



わがまち  
協働大賞

お節介おじさん・おばさんが  
地域の若者を元気にする！！

蒲生地区まちづくり協議会

結婚」は、個人の選択。口だしはよけいなお節介。そんな風潮が広がる一方、未婚率が社会問題となっている昨今、ちょっと前は、近所の人「こんな人いるよ。」や「この人あなたに合うんじゃないの。」と声をかけてくれました。そんなお世話をしてくれる人が少なくなってきた現代に、お節介といわれるかもしれないけど、若い人への結婚の意識を高めようと活動を始められて 5 年。20 回を重ねる婚活イベントやセミナーの開催をしてこられたのが、蒲生地区まちづくり協議会のあかね部会のみなさんです。

あかね部会は、お年寄りから子どもまで、みんなが主役になれる地域をつくることを目的に活動されています。まず取り組んだのが、退職したサラリーマンが活躍できる場づくり。そこから生まれた「応援塾」で、コーヒーとおしゃ

べりを楽しむ「縁側カフェ」を開催しました。縁側カフェの店員はみんな退職後のお父さん達。月 1 回から始まったカフェも現在では、毎週土曜日にガリ版ホールで開催されています。

#### ■地域の課題として「婚活」を意識

縁側カフェの活動をきっかけに、地域の課題は、生活と密着した中にあるということに気づき、改めて地域に目を向けると結婚していない若者が多い現状に驚いたとのこと。今では当たり前のように聞かれる「婚活」という言葉も当時はなく、結婚は個人の問題というのが、世間の常識でした。しかし、それを地域全体の課題として取り上げたところから、この活動が始まりました。まずは、「親の意識を変えること」から取り組もうと、婚活応援セミナー講演会「婚活のスヌメ」を開催しました。結婚していない子を持つ親御

さんを対象にセミナーを開催し、結婚は当人同士の問題だけでなく、親も一緒に考える必要があることの意識づけから始められました。

#### ■婚活イベントを開催！

その後、勉強会を重ね、「婚活イベント」の開催となりました。地域で開催するイベント、せっかくだから地域のよいところを知ってもらおうと、他と少し違った視点でイベントを企画をされました。その一つが、「お茶摘み婚活」。東近江市には、昔からお茶の産地として知られる政所町（永源寺地区）があり、お茶摘みを通した、出会いの場を企画しました。

#### ■婚活応援セミナー VOL20 「ガチャ婚」

いろいろな工夫を重ねながら、記念すべき 20 回目の婚活応援セミナーは、「ガチャ婚」。2016 年に運行 120 周年を迎える近江鉄道との協働事業となりました。地域で長く愛されてきた近江鉄道に乗りながら、素敵な出会いを見つけてもらおうと、当日は、特別列車を仕立て、様々なアクティ



ビティを行いました。近江鉄道の職員の方々も休日にも関わらずお手伝いをして下さったそうで、若者の出会いを軸に素敵な連携、協働につながりました。地域の良さを伝え、若い人の出会いの場を盛り上げたい「蒲生地区まちづくり協議会」と鉄道を多くの人に愛され、利用してもらいたい「近江鉄道」の思いが重なり、この事業で結びついたように思います。

#### ■婚活を通して地域を元気に！

「婚活イベントを開催するためには、多くの人が必要なんです。」とあかね部会部長森田初枝さん。「一人ではできないことも、互いに補うことで一つの事業ができる。それぞれの得意分野で力を発揮してもらえることが大切。そして一番大切なことは、やっている人たちが楽しいこと。それが長く続く秘訣かな。」と話してくださいました。「面白い

事業の内容を考えるのが得意な人や、当日の司会が得意な人。この地域には、魅力のある人がたくさんいる。それを見つけていくことも楽しい。」とも。森田さんは、今回の協働大賞で、協働コーディネーター賞も受賞されました。このように、さまざまな人の力を見極め、その人が輝くことができる場所へつなげていくのが、コーディネーターの仕事かもしれません。婚活イベントでは、参加者の人をつなげるというコーディネートも必要です。最初は、もどかしそうに見守っていたスタッフですが、だんだんとお節介おじさん、おばさんの血が騒ぎだし、「話をしないとあかんで。」とか「こんな話題を話してみたら。」と参加者の特に男性の人に声を掛けるようになったそうです。



「話をしないとあかんで。」とか「こんな話題を話してみたら。」と参加者の特に男性の人に声を掛けるようになったそうです。

#### ■他とは違う婚活イベント

回数を重ねる内に参加する人への思いも変わってきました。「今では、自分の子どものように感じてきたのよ。」とあかね部会の西川さん。「最初は、なかなか結果がでなくて、カップルも全然生まれなし、やる意味あるのかなと考えたこともあったんやけど。」となかなか成果が出ないことに悩んでいたそうです。そんな時に「この婚活は他とは違ってアットホームでいいな。」との声や「スタッフのみなさんの話を聞いて、結婚する気になり、結婚できました。」という報告があったそうです。この場で出会った人が、お付き合いをして、結婚に結びつけばこんな嬉しいことはないですが、それだけでなく、「結婚しよう」という意識が生まれることが大切だと話してくださいました。「結婚したよ。」と聞くと我が子のように嬉しく思うし、いろいろな相談事にもきちんとのってあげたいと思っている。」とのこと。本当にアットホームで温かい気持ちがあふれている婚活イベントなのだと感じました。そこが蒲生地区まちづくり協議会の婚活の魅力なのかもしれませんね。



■結婚に向けた事業が全市を巻き込んで

「最近、結婚しないという選択肢もある。それはそれで、その人の生き方だから。でも、結婚したいと感じているのに、できない人にはそういう場を作ってあげたい。」と森田さん。結婚しない人が、10人に3人といわれる時代、生涯独身率も年々上がってきています。「今までは、婚活という個人の問題だったけど、最近では、社会問題として考えてくれるようになり、行政の動きもでてきました。」とのこと。始めた頃は、「なんでそんなことまちづくり協議会がしてるねん。」と地域の厳しいご意見もあったそうです。しかし、個人の問題だったことが、社会全体の課題になる中で、行政も動き始め、2017年3月から「東近江市結婚サポート連絡会」が立ち上がります。東近江市内では、まちづくり協議会をはじめとした団体や事業者、そして市がこれまで結婚支援のイベントを行ってきました。しかし、それぞれの事業やイベント間の情報交換が十分ではありませんでした。今回連絡会が立ち上がることで、互いに連携することができるようになり、イベントの開催はもちろんのこと、広報や結婚希望者の情報登録、マッチングなどの取り組みを行います。これからは、それぞれにつながりを持ちながら、市内全体で、結婚支援に取り組むこととなります。

■うれしい報告が増えることが今後の目標

今後の活動について何うと、「これまでと変わらず、無理せずに、イベントを開催していきたい。」そして、「個別の相談もあるので、そちらにも対応していけたらと思っている。」とのこと。しかし、「悩み相談みたいなのは終わりがいいから、どこまで関わるかの見極めが難しい。難しい話だと、こちらの気持ちも落ちこんでしまうことがある。」と相談の難しさも。そんな中でも、『おばちゃん、結婚できたよ。ありがとう。』と言ってもらえるのが、一番うれしい」とやりがいも語っていただきました。結婚できましたとメールだけでなく、わざわざ報告に来てく

ださる人もいます。「そんな出会いがあるから、このイベントはなかなかやめられない。」うれしい報告がみなさんの、次への活力になるのだと感じます。

■地域の課題としっかり向き合うこと

この活動を通じて地域をしっかりと見つめ、何を今しないといけないのかという「課題を見つける力」、そして人の持つ力を生かし、その力を最大限に活用する「コーディネーター力」。それらの力が、協働を進める上で必要だと改めて感じます。一つの地区の地道な取り組みが、市全体への広がりにつながっていく、それは様々な「協働」がもたらした大きな成果なのだと思います。



お節介おじさん・おばさんからの message

★社 美三子さん  
人生で人との出会いは、貴重な縁で必ず意味があると思います。今、信頼できる仲間と、その縁の一部でもつなぐ活動ができることをありがたく感じています。

若い人たちの幸せを願って活動されているみなさんです。そんなみなさんにこの事業のやりがいを聞いてみました。

★辻 香代子さん  
50年前前のことを思いだし、婚期を逃しそうな娘を心配する母と、思いを知らながらも今一步踏み出す事の出来無い私の背中をずっと押して下さった隣のおばさんに感謝して、私も何かお手伝い出来たらと思って参加しています。



★池内 光男さん  
カップルが成立した時の感動が一番やりがいを感じます。

★大塚 ふささん  
一年後に金婚を迎えます。自分で決めかねていた結婚は、母が大丈夫と言って迷う私を後押ししてくれました。参加して頂いた皆さんのお手伝いが出来たら嬉しく思います。

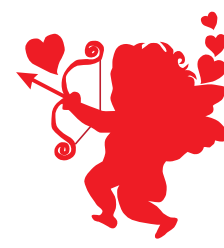
★中江 勝三さん  
縁とは、どんな機会、どんな出会い等いろんな場面から生まれるのではと思います。そんな時は半歩でも前向きに捉え、勇気を出し進んで欲しいです。そんな時、後押しが少しでも役にたつのではと思いつつやっていきたい。1人でも多く、一組でも、これがやりがいになります。

★福永 正宏さん  
人の縁は、『有難い』だから出逢いが成立すると『有難う』につながる。ひとつでも多くの『有難うを聞く』ことが、やりがいです。

写真は、20回目を記念して作られたお揃いのTシャツを着て集合写真



- 平成22年11月20日 赤い糸プロジェクト20回 あゆみ
- 平成22年12月22日 婚活・前・セミナー
- 平成23年01月15日 講演会(婚活スヌメ)
- 平成23年02月13日 ふれ愛コンサート
- 平成23年04月10日 蕎麦うち体験
- 平成23年06月18日 近江牛のバドミントン蒲生産米でおにぎりづくり
- 平成23年07月17日 陶芸教室 (お節介おじさんおばさん)
- 平成23年11月19日 陶芸教室
- 平成24年02月12日 里山体験とバームクーヘンづくりに挑戦
- 平成24年02月24日 あなたの気持ちに絆されて
- 平成24年06月08日 ガリ版でメッセージカードをつくろう
- 平成24年09月08日 本場近江牛でBBQ
- 平成24年10月01日 サッカー観戦
- 平成24年12月22日 恋の指南役 鳥羽市で研修
- 平成25年02月10日 バレンタイン スイーツづくり
- 平成25年08月25日 ガリ版カフェ OPEN
- 平成25年11月24日 ガリ版カフェ まち婚
- 平成26年06月15日 蕎麦うち体験
- 平成27年01月25日 チョコフォンデューパーティー
- 平成27年07月19日 お茶摘み婚活
- 平成28年01月17日 愛に恋
- 平成28年07月03日 がちや婚





地域の住民が話し合ってきたもの

## 地域にできた素敵なスポット in 蒲生

### ○緑側カフェ

蒲生地区まちづくり協議会のあかね部会が行っている「退職サラリーマン応援事業」の一つです。コーヒーを飲みながら、おしゃべりをして、楽しく過ごすスペースをつくることを目的に活動されています。初めて出会った人も同じ空間にすることで、知り合いのような温かい雰囲気を感じることができます。

1杯のコーヒーへから居場所づくりへのの思いをたくさん感じることができます。ぜひ「ほっと」できる空間でのひと時を過ごしてみたいはいかがでしょうか。

場所：ガリ版ホール  
 (住所：東近江市蒲生岡本町 663 番地ガリ版伝承館敷地内)  
 時間：毎週土曜日 13:00 ~ 16:00



1 コーヒーの淹れ方を学んだ方が心をこめて入れてくださいます。  
 2 季節の花が飾られ、木の香りに包まれる椅子と机。  
 3 コーヒーのよい香りが広がっています。

### ○CO-GAMO CAFE & MARCHE

地域で採れたものを味わえる場を作りたいと始まった、「CO-GAMO CAFE」。2016年9月のオープンから、誰もが気軽に訪れることができる居場所づくりをめざしておられます。メニューは、地域で採れた野菜を中心に地元産の安心な食材を楽しむことができます。

また、毎週日曜日に同じ敷地内で開催されているマルシェは、朝採れ野菜を中心に数多くの品物が並んでいます。野菜だけでなく、果物や加工品もあります。開店より前に来られるお客さんも多く、新鮮でおいしい野菜を心待ちにしておられます。

地元の食材を購入したり味わったりできるあったかいお店です。ぜひ一度訪れてみてはいかがでしょうか。

住所：東近江市桜川西町 281-1  
 TEL：0748-56-1395  
 HP：https://www.gamoyume.org/  
 営業時間  
 CO-GAMO CAFE(カフェ)  
 10:00 ~ 16:00  
 定休日：水、木  
 CO-GAMO MARCHE(マルシェ)  
 毎週日曜日 9:30 ~ 13:00



1 カフェの店内  
 2 マルシェの店舗  
 3 カフェの外観  
 4 ボリューム満点のランチメニュー

## 協働大賞受賞団体 活動事例紹介

### ～共に考え、共に創る活動～

NO.1 優秀賞 まちづくり系  
 歴史文化を活かして新たなにぎわいを  
 五個荘地区まちづくり協議会  
 まちづくり協議会 × 地元のお店

NO.2 優秀賞 地域学習系  
 みんな大好き 北小学校！  
 能登川北小学校区地域教育協議会  
 学校 × 地域の人

NO.3 特別賞 子育て系  
 未来を創る子どもたちの可能性をひろげるために  
 地球ハートヴィレッジ  
 まちづくり協議会 × 事業所 × 国際交流協会

NO.4 特別賞 まちづくり系  
 田舎らしさでおもてなし  
 NPO法人愛のまちエコ倶楽部  
 NPO法人 × 農家

NO.5 特別賞 まちづくり系  
 多分化共生のまち東近江をめざして  
 であいタイランド実行委員会  
 地元のお店 × 国際交流協会

NO.6 入賞 産業系  
 互いの強みが地域を変える  
 一般社団法人東近江住まいるバンク  
 事業者 × 行政

NO.7 入賞 医療系  
 命をまもる病院を、地域住民で守りたい  
 能登川病院をよくする会  
 まちづくり協議会 × 地域の人

NO.8 入賞 福祉系  
 地域で助け合いの気持ちを育み、拡げる  
 あいとうふくしモール運営委員会  
 団体 × 市民ボランティア × 就労支援組織